

第2回検討会の意見を踏まえ、地方公共団体職員向けに、男女共同参画の視点からの「防災研修プログラム」の教材(案)を作成し、令和3年3月9日(月)に文京区の協力を得て研修(試行)をオンラインで実施した。

今後は、3月22日(月)に品川区で実施する研修(試行)に向けて、教材の改善する。また、既存の事例集に追加する事例についても、ヒアリングの結果を基に作成する。

【論点】

<セッション1～3の教材>

- 改善するとよい点はどこか、どの様に修正するとよいか

<事例集>

- 事例集のスライドやノート部分の解説について、改善するとよい点はどこで、どの様にするとよいか。

セッション1～3の教材の概要

	タイトル	目 標	学習内容	所要時間
1	防災になぜ男女共同参画の視点が必要か	<ul style="list-style-type: none"> なぜ防災に男女共同参画の視点が必要なのか理解する 行動することの大切さに気付く 	<ul style="list-style-type: none"> 女性と男性で異なる災害の影響 災害時に女性が抱える困難とは 男女共同参画の視点に立った災害対策の取組の進め方 	20分程度 ※動画教材
2	災害対応力を強化する女性の視点	<ul style="list-style-type: none"> 災害の各段階の主要な活動について、男女共同参画の視点を組み込んだ取組ポイントを理解する ガイドラインを、平常時・災害時にうまく活用できるようになる 	<ul style="list-style-type: none"> セッション1の振り返り 初動段階に起こる主な課題と対応ポイント 避難生活段階に起こる主な課題と対応ポイント 復旧・復興段階に起こる主な課題と対応ポイント ここから始める平常時の取組 	45分程度 ※動画教材
3	男女共同参画の視点から防災の取組を実践する	<ul style="list-style-type: none"> 自身の組織における具体的な取組を見つけ出す ガイドラインを活用して取組を検討する 	<ul style="list-style-type: none"> ワーク1: 災害発生時の自組織の業務を整理する ワーク2: 男女共同参画の視点から取組を検討したい業務を選ぶ ワーク3: 災害時に具体的に取り組むことを検討する ワーク4: 平常時にしておくことを検討する 共有: 全体でワークの結果を共有する 	75分程度